

## FAQ1: 申込資格・申込書類について

杉並区の展示ですが、杉並区民でなくても申し込めますか？	申し込めます。ただし、講評会参加希望者が定員を超える場合は杉並区内に住んでいる方、通学している方、通勤している方を優先させていただく場合があります。ご了承ください。
未成年でも申し込めますか？ 保護者の許可は必要ですか？	申し込み時点で <b>小学校5年生以上24歳以下</b> であれば申し込みできます。申込時点では保護者の許可は不要ですが、17歳以下の方は、ウェブ・ミュージアムに展示する場合は、保護者の承諾書が必要です。
親や友達に内緒で参加できますか？	講評会までは申込者本人の意思だけで参加できますが、17歳以下の方は展示が決定した場合には保護者へ確認をしていただくことになりませんが、原則本名や学校名は公開しません。
本名を表示したくありません。それでも申し込めますか？ 講評会や展示では、どんな表示方法になりますか？	・本名は表示しない方針です。未成年の参加者も多いことから個人情報保護、安全性を考慮し本名や学校名は原則表示しませんが、ペンネームの他に「高校1年」などの学年程度は表示予定です。18歳以上の方は、希望があれば本名で表示します。 ・事務局との連絡には本名と連絡先が必要です。
今10歳です。申し込めますか？	申し込み時点で小学校5年生から24歳までの方が申し込めます。
社会人でも申し込めますか？	年齢制限に合致していれば <b>社会人の方でも申し込み可能</b> です。
まだ出品作品の内容が決定していません。申込フォームの「出品作品ジャンル」には、どこまで書けばいいですか？	<b>申し込み時点の予定で入力</b> ください。変更のあった場合は、申し込み後やりとりするメールで連絡をください。
申込多数の場合は講評会の参加や、ウェブミュージアムでの展示ができないのですか？	展示は、人数ではなく作品数(上限150点)の制約がありれますので、出品作品が150点を超えた場合は、期日前でも締切させていただくことがあります。また展示・講評会で定員を超える場合は、杉並区内在住、通学、通勤している方を優先させていただく場合があります。ご了承ください。
申込後のキャンセルはできますか？ どうしたらよいですか？	キャンセルはできますが、必ず事務局へ連絡ください。出品断念を決めた時点で迅速に連絡いただくと他の申込者、事務局もたいへん助かります。
作品の権利はどうなるのですか？	・著作権は <b>作品を制作した方に帰属</b> し、スギナミ・ウェブ・ミュージアムで展示をしても変わることはありません。 ・ <b>展示の宣伝を目的に</b> ウェブサイトやSNSなどで作品を <b>事務局が使用する</b> 可能性があることをく出品・展示規約>に記載しており承諾いただけたことが申込条件になっていますのでご了承ください。
グループ出展の場合、25歳が一人含まれていますが申し込めますか？	<b>3人以上のグループであれば1名までは可能です。</b>

## FAQ2: 出品作品について

<p>出品できる作品ジャンルは決まっていますか？</p>	<p>大きく分けて、デジタル動画と、平面、立体造形があります。</p> <p>●デジタル動画</p> <p>デジタル(MP4形式)で納入できる動画であれば、テーマ・手法・ジャンルは問いません。アニメーション、実写、フルCGなどが出品できます。なお以下に該当する動画は申し込みできません。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>× 音声のないもの</li><li>× すでにインターネット上で公開されているもの</li><li>× お笑いコント、ものまね、オリジナル振り付けでないダンスなぞ</li><li>× 1分に満たないもの、3分を超えるもの</li><li>× 音声・楽曲・効果音は使用許可を得た適切なものであることが作品内(エンドロール)に表示されていないもの</li></ul> <p>●平面</p> <p>写真／絵画全般(油彩、水彩、切り絵など平面のもの)／書道／イラスト／マンガ／キャラクターデザイン画／ファッション画／カリグラフィなどで手描きでもデジタル制作でもかまいませんが、最終的にデジタル化して展示できるもの</p> <p>●立体造形</p> <p>彫刻、人形、陶芸等の立体アートについては、デジタルでの展示が困難なため原則申し込みできませんが、作品をデジタル化できる場合、申し込みいただけます。講評会では制作した作品現物で講評を受けることができます。</p>
<p>出品作品のテーマはありますか？</p>	<p>自由なテーマで作成できますが、＜出品・展示規約＞に記載の通り、第三者に不快を与えたり、悪影響を及ぼすことのないテーマや表現であれば問題ありません。</p>
<p>杉並区のキャラクター(なみすけなど)をテーマにしてコラージュやCG加工などしたものは出品できますか？</p>	<p>「なみすけ」はまだ著作権保護期間中ですが杉並区が管理していますので、詳細は杉並区産業振興センター なみすけ係(電話:03-5347-9184)までお問い合わせください。付随して次の項目も参照ください。</p>
<p>他の作家や出版物を取り入れた作品は出品できますか？</p>	<p>・著作権保護期間(作家の没後70年、出版物は公開後70年)が過ぎたものなら利用できますが、作品の中心にならないよう引用は平面作品の場合は、全体にしめる20%未満のスペース、映像に取り入れる場合は、全尺の10%の長さ(例:2分の作品の場合は、12秒以内)を目安にしてください。</p> <p>・著作権保護期間は2018年12月に改正されていますので、くわしくは文化庁のウェブサイト等で確認ください。</p>
<p>連作やシリーズ作品の点数やサイズ制限はありますか？</p>	<p>・作品数は、平面作品の場合、手描き、デジタルを問わず最大3点です。サイズは、1作品の長辺80センチ以下を目安にしてください。</p> <p>・講評会では、一人あたりのスペースが限られていること、搬入通路が比較的狭いといった事情があります。</p> <p>・ウェブ展示では、なるべく原寸で展示するため、一人あたりの点数・サイズを取り決めていきます。</p>

<p>提出する作品のデジタルデータはどのように用意しますか？</p>	<p>●アナログ平面・立体造形作品の方          ただしく複写されたデータまたはスキャンしたデータを提出ください。          サイズ：長辺4000ピクセル前後          形式：JPGかPNG</p> <p>▽アナログ平面・立体造形作品で講評会参加の方          スキャンや複写に不安のある方は、8/31提出のデータは展示には使用せず、講評会でプロが撮影する画像をウェブ展示に使用することができます。</p> <p>▽講評会欠席の方          送っていただくデータがそのままウェブ展示に使用されます。スマートフォン撮影では画素数不足・光量不足・ゆがみなどがあります。注意して撮影ください。不安な方はラボのスキャンサービスをお勧めします。</p> <p>●デジタル平面の方          サイズ：長辺4000ピクセル前後          形式：JPGかPNG</p> <p>●デジタル動画の方          サイズ：1分以上3分以内          解像度：フルHD          音声：22khz以上モノ・ステレオ自由          形式：MP4</p>
<p>未公開作品とは具体的には、どのようなことですか？</p>	<p>一般に配布される印刷物に掲載していない、インターネット上に公開していない作品を指しています。家庭内などごく限られた人数に対し披露した程度の作品は問題ありません。</p>
<p>映像にフリーの音楽を使用予定ですが、注意事項などがありますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上の提供サイトの場合は、無料で使用できる範囲が限られているケース、有料でも提供者名の記載が利用条件となっている場合がありますので、利用時は注意深くご確認ください。</li> <li>・動画をアップロードすると、音楽に著作権問題がないか警告されることがあります。警告に対して意義申し立てをする場合には、楽曲の提供元発行のID等が必要になります。</li> <li>・本展では、有料・無料、利用範囲の自由度に関わらず、楽曲を提供いただいた場合は動画作品内に提供者名を表示してください。提供を受けた音楽が最初に再生されるタイミングやエンドロール等に「音楽：〇〇〇〇」などと表示しましょう。</li> </ul>

## FAQ3: 講評会について

<p>展示前にリアルな講評会をするのはなぜですか？</p>	<p>講評会は、同世代の作品を鑑賞すること、交流することもできる良い機会です。専門家によるアドバイスは、今後の制作に大いに役立ちますし対面式の講評会に参加する経験を持つことも重要です。</p> <p>またく出品・展示規約&gt;と異なる作品は展示できない場合がありますので事前確認させていただくことも目的としています。</p>
<p>講評会は公開されるのですか？</p>	<p>作品の設置準備から講評開始までの限られた時間ですが、一般の方にもご覧いただけるよう予定しています。</p>
<p>講評会のタイムテーブルは？</p>	<p>講評会の詳細な予定は参加希望者にメールでご連絡します。現在の予定では、正午頃搬入・設置いただき、13:00～16:00の間に開催、16:30頃解散を予定しています。遅くとも2週間前には詳細な時刻を通知予定ですので、ご理解ご協力いただけますようお願いいたします。</p>
<p>講評会のやり方は、どのような感じですか？</p>	<p>数名のクリエイティブ業界・美術系の専門家講評者が会場を巡回し、出品者のみなさんと直接とお話させていただき、後半に総評いたします。</p> <p>●平面作品・立体造形</p> <p>約2メートル間隔で申込者ごとに展示エリアを設けます。</p> <p>一組当たり長机1、椅子2脚を用意します。</p> <p>講評者に作品が見えやすいよう工夫ください。数名の講評者は個々に場内を巡回し感想やアドバイスを個別にお話しします。※デジタルの方はタブレットにコピーするか、プリントをお持ちください。イーゼルをお持ちの方はご持参ください。</p> <p>●デジタル動画</p> <p>会場内のスクリーンに順番に作品(事前に納入されたデータ)を上映します。講評者も固定で着席しますので、ひとりずつ制作のポイントなど5分程度でプレゼンテーションください。※タブレットにコピーしておくともよいでしょう。</p> <p>▽前回の様子(左:動画の講評 中・右:場内を回遊する講評者と参加者)</p> <div data-bbox="434 1346 705 1572"></div> <div data-bbox="729 1346 1015 1572"></div> <div data-bbox="1039 1346 1325 1572"></div>
<p>搬入・搬出はいつ、どのようにできますか？ 何人で設置できますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・搬入は当日の正午前、搬出は終了次第(16:30頃)で、すべて制作者がおこなってください。</li><li>・特に人数制限はありませんが、混雑を避けるため最低人数で来場ください。</li><li>・当日は土曜日のため庁舎内のエレベータは特定エリアのもののみ稼働していますので、使用できるエレベータを事前にメールでご案内します。</li><li>・1階屋外の駐輪場は無料ですが、地下の駐車場は有料です。</li></ul>

## FAQ3: 講評会について(準備品リスト)

部門	平面作品(手描き)・立体造形物	平面作品(デジタル)	動画
事前の 納入物	<p>8月31日夜8時までに、作品全体が見えるように複写撮影した<b>写真データを作品確認用に事務局へ送信</b>ください。</p>	<p>8月31日夜8時までに、作品データを事務局まで送信ください。</p> <p>▽画質等 サイズ:長編4000ピクセル前後 形式:JPGかPNG ウェブ展示の際は、A3サイズ程度の比率で展示します。</p>	<p>8月31日夜8時までに、<b>作品データを事務局まで送信</b>ください。</p> <p>▽画質等 サイズ:1分以上3分以内 解像度:フルHD 音声:22khz以上モノ・ステレオ自由</p>
送信データが <b>大容量(10mメガバイト以上)</b> の場合は、 <b>ファイル転送サービス</b> をご利用いただきダウンロード用のURLをメールで通知ください。			
事前 準備	事務局が用意するもの以外で <b>講評者に見て欲しい資料(ポートフォリオ)</b> や、 <b>当日の持参品を準備</b> ください。		
当日の 持参品	<p>①<b>原画・現物</b> 絵画・書等の額装は任意ですが、額装の有無がそのままウェブ展示に反映されます。立体造形物は、注意のうえ持参ください。</p> <p>②<b>展示台になるもの</b> 作品がよく見えるようイーゼルまたは作品台になるようなものを持参ください。 <b>希望する方の作品は、当日ウェブ展示に備え、会場でカメラマンが作品を複写</b>します。</p>	<p>①<b>作品プリント タブレット等</b> 講評者や他の参加者にも作品をみてもらやすいようプリント、可能な方はノートパソコンやタブレットにコピーして持参するのもよいでしょう。</p> <p>②<b>展示台になるもの</b> 作品がよく見えるようイーゼルまたは作品台になるようなものを持参ください。</p>	<p>①<b>制作資料</b> 絵コンテ、シナリオなど制作過程のわかるもの</p> <p>作品データは事前締切で事務局が受信したものを編集し用意します。</p>
	1組あたり <b>長机が1台、椅子2脚は</b> 利用できるように設置されています。		
	<p>ポートフォリオを用意できる方は持参ください。 ただしスギナミ・ウェブ・ミュージアムで展示を予定しない作品は、区別できるようにご注意ください。</p>		

## FAQ4:ウェブ展示について

<p>ウェブ展示のイメージがつかめません。どのようなものですか？</p>	<p>ウェブ展示は、インターネット上の仮想美術館に作品を画像または映像データにして表示するものです。スギナミ・ウェブ・ミュージアムで現在展示中の「<a href="#">真造圭伍『ひらやすみ』原画展 -四季と日常-</a>をご覧ください。ほぼ同じ仕組みで「U24クリエイター展」も展示を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・実際の展示に比べ迫力や臨場感は劣るものの、世界中どこからでも観覧でき、URLを記したメール1本で、知人や家族にも見てもらうことができます。</li><li>・作品画像を拡大表示できるので、作品を間近に独占して楽しめる点も魅力です。</li></ul>
<p>どのくらいの人に見てもらえますか？</p>	<p>・閲覧者数は、展示それぞれで異なります。魅力的な作品が多く、みなさんから呼びかけてもらうことでより多くの人に作品を見てもらうことができます。・スギナミ・ウェブ・ミュージアムはスタート以来、約30万ページが閲覧されています。展示がスタートしたら、より多くの方にご覧いただくためにSNSでの広告配信も予定しています。</p>
<p>ウェブ展示用にデジタル化しても作品は劣化しないのですか？</p>	<p>・手描き作品をデジタル化した場合は、小さなもの、細い線などが見えなくなることがあります。こまかな表現の多い作品は向いていません。下書き段階で、デジタルの解像度を長手方向3000～4000ピクセルで仮に撮影して事前に確認して制作ください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・色合いはRGBのみで再現するため、アナログ現物とは異なるケースがあります。</li><li>・動画でデータ容量が大きい場合のみ、事務局でデータ圧縮をさせていただく場合があります。その場合はクオリティはやや下がる場合があります。</li></ul>
<p>ウェブで展示すると画像は自由に使われることがあるのですか？</p>	<p>・展示閲覧者が無断で展示作品の画像を利用することを禁止している旨は表記します。しかしながら、第三者によって無断で使用される可能性はあります。無断使用されて損害を受ける作品の展示はお控えください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・差し支えない場合は、ご自身のクレジット表記を作品内にウォーターマーク(透かし状の文字等)等で記載ください。</li><li>・当ミュージアムでは、第三者の無断使用等による損害について賠償することはできません。ご了承ください。</li></ul>
<p>自分の展示場所を選んだり、展示室の背景や額装を変えることができますか？</p>	<p>・「U24クリエイター展」では、作品数に応じいくつかの部屋を用意します。ジャンルや作品の雰囲気などにあわせ場所や背景は事務局がコーディネートさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・額装は、事務局が加工することはしません。デジタル画像の方は額装ごとデータに含んで納品いただければそのまま展示します。</li><li>・アナログ作品の場合は、講習会時に額装があれば、そのままデジタル化して展示します。</li></ul>